

Hidden Hand 見えない手

中国共産党は世界をどう作りかえるか

著者

クライブ・ハミルトン

オーストラリアの作家・批評家。著作に『目に見えぬ侵略：中国のオーストラリア支配計画』(Silent Invasion: China's Influence in Australia)『成長への固執』(Growth Fetish)、『反論への抑圧』(Silencing Dissent: サラ・マディソンとの共著)、そして『我々は何を求めているのか：オーストラリアにおけるデモの歴史』(What Do We Want: The Story of Protest in Australia)などがある。14年間にわたって自身の創設したオーストラリア研究所の所長を務め、キャンベラのチャールズ・スタート大学で公共倫理学部の教授を務めている。

マレイケ・オールバーグ

ベルリンを拠点に、中国のデジタル政策と中国共産党の世界的な影響力を研究。コロンビア大学で東アジア研究の修士号、ハイデルベルク大学で中国研究の博士号を取得。2016年から2020年まで、メルカトル中国研究所リサーチアソシエイト。ヨーロッパにおける中国の動向を、政府や政策立案者に紹介する仕事に従事。同研究所の画期的な報告書『権威主義の前進：ヨーロッパにおける中国の政治的影響力の増大に対応する』(Authoritarian Advance: Responding to China's growing political influence in Europe)の共著者。

【監訳者】

奥山真司(おくやま まさし)

国際地政学研究所上席研究員、青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師。1972年、横浜市生まれ。カナダのブリティッシュ・コロンビア大学を卒業。英国レディング大学大学院で修士号(MA)と博士号(PhD)を取得。戦略学博士。著書に『サクッとわかるビジネス教養 地政学』(新星出版社)、『地政学:アメリカの世界戦略地図』(五月書房)のほか、訳書に『目に見えぬ侵略』クライブ・ハミルトン著、『ルトワックの日本改造論』エドワード・ルトワック著(共に飛鳥新社)、『戦略の未来』コリン・グレイ著(勁草書房)、『大国政治の悲劇 新装完全版』ジョン・ミアシャイマー著(五月書房新社)などがある。

【訳者】

森孝夫(もり たかお)

翻訳家。1962年、大阪府生まれ。大阪大学工学部大学院を卒業。工学修士号を取得。

2. レーニン主義政党、世界へ

中国共産党の冷戦メンタリティ／「大外宣」／中国共産党が支配する／統一戦線工作
「二重役職」と「二重部門」／人民：その友人と敵／5%ルールと静かな外交／
中国共産党の工作の手順

3. 政治エリートの中心：北米

友人作り／ジョン・マッカラムの悲惨な姿／ワシントンDCにおける影響力／ホワイトハウス／対敵工作部／カナダの北京エリート

4. 政治エリートの中心：ヨーロッパ

党間外交／欧州を懐柔する／EU中国友好グループ／イギリスの「48 グループ・クラブ」
／イタリアの転向／フランスにおけるエリートの取り込み／ドイツの「中国の友人」

5. 地方・周辺部の政治エリート

地方政治への工作／興味深い事例：マスカティーン／影響を受けやすい市長／ドイツの「田舎」での一帯一路構想の支持／姉妹都市

6. 党と企業の複合体

党とビジネス／億万長者の「同志」／アメリカの「国際主義の億万長者」／ウォール街にいる太子党／シティの中国共産党／経済面の認識の形成／以イ商 シャン遍 ビー政 ジェン／一帯一路戦略／「ディスコース・コントロール」としての一帯一路構想

7. 華僑の動員

僑務：華僑への工作／統一戦線工作：その手口と構造／中国人民対外友好協会（CPAFFC）／僑務弁公室（OCAO）／中国人民政治協商会議（CPPCC）／中国平和統一促進会（CCPPNR）／脅迫とハラスメント／華人参政／イギリスにおける華人参政

8. スパイの実態

影響工作とスパイ活動／中国のスパイ機関／人材採用のやりかた／シンクタンクや研究機関／千人計画／専門家協会／欧米の大学にいる人民解放軍の科学者たち／サイバー攻撃と影響工作／ファーウェイの場合

9. メディア：またの名を中国共産党

メディアの「言説」／すべての上に立つ党／グローバルなメディア勢力／欧米人が中国共産党のプロパガンダを微調整する／「防火長城」を越えて／「船を借りる」／協力協定／中国語メディア／「船を買う」／海外メディアによる自己検閲

10. 文化を戦場にする

政治文化／保利文化集団／中国芸術基金会／文化の独占／文化面での逸脱を粉砕する／映画と演劇への検閲／「芸術と文化に対するマルクス主義的な視点」

11. シンクタンクと知識人たち

「中国共産党の禄を食らくをはむ」／香港コネクション／ブリュッセルの共産党マネー／その他の形の圧力／オピニオンリーダー／中国共産党による国内シンクタンクの拡大

12. 思想の管理：欧米の学术界への中国共産党の影響力

政治の戦場としての大学／孔子学院／直接の圧力／自己検閲／財政面での依存／中国研究の再構築／大学同士の連携／学術出版

13. グローバルガバナンスの再構築

多国間主義の守り手／国連の中国化／台湾を国際舞台から排除する／警察活動のグローバル化／北京版の「テロリズム」の定義の輸出／並行・疑似的な多国間組織の構築／中国的特色のある人権／「インターネットの統治」と新技術の基準の輸出

1. 中国共産党の野望の全体図

日本は「目に見えぬ侵略」にどう対処するか